

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2019 1 Jan No.47

みんなの夢

2019年1月1日発行（年4回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／黒川 富子

〒462-0807 名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>



めいほく町南の家 みんなでつくりました

新年明けまして
おめでとーございませす

理事長 黒川 富子

穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、社会福祉法人名北福祉会の運営に温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、めいほく保育園、やだ保育園の建替えにより、よりよい保育環境の中で保育づくりや子育て支援、シニアカフェなど地域に頼りにされる保育園として取り組んでいます。また、障がい者グループホーム「新守山あさひ」ができたことで、暮らしの場づくりを広げることができました。高齢分野では、終の棲家が課題となっています。

2018年、医療・介護・障害等の制度が改正され、社会保障削減は、さらに貧困や格差を拡大し、深刻さを増しています。引き続き地域の要望に応じていく努力と憲法と平和を守るとりくみをすすめてまいります。

本年も、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。



わたしたちの保育実践

～子どもの思いを大切に～



●めいほく保育園

テラスで気持ちよく

取り組んだ描画活動

運動会がおわり1歳児のこどもたちも新しい園舎の生活に慣れてきました。夏ごろから保育室の前の広いテラスでプール遊びとボディペインティングで手や足に絵具をつけて楽しんできました。今回は「タンポ」という道具を使って楽しみました。大きく広げた紙に跡がついた時のこどもたちの「わあっ!」とした表情がとても素敵でしたよ。手作りの工夫した「ロングタンポ」では、1歳児の子どもたちが腕の力だけではな



く、全身をつかって自由に！ダイナミックに！気持ち良く描いていました。

●第二めいほく保育園

思いをたっぷり出せることを大切に

4月当初、友だちにおもちゃを持っていかれてもただこらえている姿だったAくん。まだ信頼関係ができていない中で思いをだすのは難しいだろうけど、やっぱり自分の思いをしつかりだして、思いがうもれないようにしていきたいと担任間でも話し、思いをくみ取って代弁したり、イヤって言うてもいいんだよと伝えたりすることを大切にしてきました。そして毎日一緒にグループの友だちや担任と過ごし関係ができてきた中で、少しずつAくんも自分の思いをだせるようになってきて、まずは、その思いを丁寧を受け止めていくことを大事に関わってきました。今では、しっかり思いがだせて、時には友だちと思いがぶつか



りあうこともありま。これからも思いをたっぷり出し、大人も間をもちなから関わっていくことを大切に、少しずつ相手の思いに気づいたり、受け止めたりしていけたらなと思えます。

●なえしろ保育園

「一緒に楽しい!」

という経験を積み重ねて

「大人と一緒に遊びたい。でも私だけ」という思いが強いCちゃん。できるだけCちゃんを中心に遊びを作ってきましたが、大勢の中の一人になるとみんなと交わろうとしない姿に、参加するこ



とが全てではなく『見ている参加もある』と思い、こちゃん自身が「一歩踏み出せるのを待とう」と思いました。その頃よく「はずかしい」という言葉を言うようになり「た。『恥ずかしい』という気持ち」がわかるという事は、自分以外の他人の存在が大きくなってきていると感じました。大人がいてねいに受けとめ、また、友だちから遊びに誘ってもらったことで少しずつこちゃんも周りの子も楽しい気持ちになって、「また、みんなやろっね」という姿が増えてきました。一人ひとりの姿を見ながら保育を作るのが大事だと感じました。

●くさのみ保育所

親子でゆったり楽しかった

「親子で遊ぼう会」(9月30日開催)

昨年度より全員が集い、クラスごとに順番に行っていた「運動会」から運動遊びを中心とした親子で楽しめるように、「親子で遊ぼう会」に変えてスタートしました。



保育士間のイメージの違いがあったので話し合い、父母と共に構成する実行委員会に提案をして親の理解も得てきました。以前から好評だったみんなで行うリズム体操や親の種目、食事交流は残し

て、いつもの子どもたちの姿を見てもらうことや、親子でゆったり運動遊びを楽しもうと確認しました。二年目の今年は、台風の影響もあり、食事交流会は出来ず残念でしたが、保育室や病院のホールで開催しました。参加したお母さんから、「前の運動会より遊ぶ時間が増えてよかった」との感想をもらえました。

●めだか保育園

「じぶんたちでお米とき」

異年齢クラス

子どもたちがやりたいなと思えることを生活のなかで大切にしています。保育室に炊飯器があり米ときをして自分たちの炊いたご飯を給食で食べています。米ときをめぐり、子ども同士の素敵な場面がでてきます。「ひとりやりた」と主張したり、同じ3歳児の子同士で「おこめとき」の写真を見ながら、「こーやってこーやってするんだよ。おこめがきれいになるまでするんだよ」と丁寧



え合っている姿もあります。5歳児の子が頼りにされ「ついてきて」と一緒に給食室に洗うお米をとり「きゅうしょくせんせいおこめください。」と出かけていきます。ごくたまに、ご飯のスイッチを忘れてご飯が炊けてないアクシデンとも・その時は、他のおへやに「ごはんください」とまるで家庭生活の延長のようです。

● やだ保育園 ●

「ばったのお部屋の誕生会」

お部屋での誕生日会では、らいおんさん(5歳児)のTちゃんの「司会やりたい」の提案から、年長さんが司会をして、誕生日のお友だちに対してみんなからの質問を聞いてくれます。1歳児Yちゃんの誕生日会のこと。(○の数字は年齢) Tちゃん⑤「何か質問ある人いますか?」 Nちゃん⑤「好きな動物は何ですか?」 「ぞく」と答えるYちゃん①。次にTくん④「好きなおもちゃは何ですか?」と聞くと「・・・」無言のYちゃん①。保育士がYちゃんは緊張しているし難しい質問だったかな、と思っていると、Kちゃん③が「Yちゃんいつもパズルやっているよ。パズルが好きじゃない?」と話してくれました。すると「うん、いつも

パズルやっているよねー」とみんなも言います。司会のTちゃん⑤が、「あと粘土もよくやってる! Yちゃん、パズルとか粘土好き?」と聞くと、Yちゃん①も「好き・・・」と答えていました。 Yちゃん①の好きな遊びをめぐる会話から、普段友だちがどんな遊びをしているかを知っていて、よく見ているのだなと、子どもたちの成長を感じました。



おせちのいわれ



合研に参加して

(第50回全国保育園団体合同研究集会 in 大阪 2018.8)

第二めいほく保育園 渡辺美那

今年、初めて合研に参加しました。昨年、受け持っていたクラスで、かみつきが頻繁に起こったことで興味があった【かみつきをなくすために】という講座を受けることにしました。1998年、待機児童解消で超過入所により保育室が過密化したこと、保育条件が激変した2002年以降、保育士の配置の規制緩和により、「かみつき」が増えたことなどがわかりました。【保育者連帯】の視点から、先生たちは、普段から頑張っていると思うけど、短時間職員が増えたことから、普段から職員間で話しあえる状況でない、かなり頑張らないとかみつきを防ぐことは簡単ではないとの言葉が印象に残りました。

かみつきが起きたときに、自分の保育の何がいけなかったのか、どうしたら防げたのか、思い悩むこともありました。保育の時代背景を学ぶことにより、今私たちが置かれている保育の状況が厳しいものであることもわかりました。「先生たちは頑張っている」という言葉に励まされました。普段保育で悩んでいることも合研に参加することで、広い視点、視野で考えることができると思います。



あたりまえに働いています

じぶんで選んだくらしをする



●めいほく鳩岡の家●

部屋の掃除

4月より「部屋の掃除」を施設全体の目標に掲げ力を入れてきました。これまでは、仲間が帰った後に職員がしたり、一部の部屋でしかやれていなかったのですが「自分たちの仕事を自分たちできれいにしよう」を合言葉にカフエ、クッキー、軽作業、それぞれの部屋のペースでスタートしました。始めてみると几帳面に小さなちりも見逃さない方、作業中とは違って先頭に立って動き出す方



など発見もあり、今ではとても大事な活動になっています。

●友の家ホームいっぽ●

夕食前の楽しい時間

日中施設より帰宅後、ホームに住む5人の仲間の皆さんは、それぞれ自分の時間を過ごしながら、夕食までの時間を過ごしています。音楽を聞いてリラックスタイムの人もいたり、お風呂に入ってから1日の疲れをとる人もいたり、お昼寝しながら待つ人もいたりな



ど、仲間の様子は様々です。明日の活力になるようにと、給食さんが作ってくれた食事を各々のスタイルで楽しみに待つ日常のひとつです。

●のびのびクラブ●

ワクワク・ドキドキな活動を!

のびのびクラブにおいて、音楽や工作などたくさんの方々の活動を行う中で特におやつ作りやお楽しみ活動は大人気。おやつ作りでは、卵をわったり生地を混ぜることはお手のもので、積極的に参加し、いつも食べたあとには「おかわりある?」という声が聞こえます。お



楽しみ活動では、紙相撲大会などで盛り上がり、子どもたちの嬉しそうな姿や悔しそうな表情など、新たな発見も多くあります。これからも子ども達が楽しめる活動を工夫していこうと考えています。



●めいほく作業所

一日旅行！

作業所の仲間たちが1年間でも楽しみにしている一日旅行。今年度は、犬山モンキーパーク、小牧のホテルでお食事&カラオケ大会、川島PAでおみやげ買いです。福祉バスを利用しての行程でした。モンキーパークでは、観覧車ジェットコースター・メリー



ゴーランドなど「激しい」から「ゆるい」まで、それぞれの乗りたいものを楽しみました。食事は、刺身、ステーキから揚げ・ハンバーグという肉3種盛り!?!、スパゲティ、デザートなど、もりもりコースでした。おなかいっぱい、歌や楽しさいっぱい旅行でした。

●わくわく安井の家

みんなで作ろう！

わくわく安井の家では、昨年度から新たにせっけんづくりをグループ活動に取り入れました。仲間たちの力を生かしてせっけん素地をちぎったり、切ったりして細かくする↓電子レンジで温め



て溶かす↓容器に流し込んだら冷蔵庫で冷やして…水まんじゅうのようなおいしそうな? (注: 食べられません) せっけんの完成です。仲間の手形を使ってラッピング用オリジナルシールも作りました。秋からいよいよ販売を始めましたので、ぜひ多くの方に手に取って見ていただきたいです。

●めいほく友の家●

地域へアピール！

めいほく友の家では、この4月から「ミニバザーグループ」という活動班がスタートしました。地域の方々に少しでも友の家の場所や通っているなかまたちのことを知っていただきたい、という思いからスタートしました。そもそも何を売るのが、どんなイメージの



バザーにするのか等々時間をかけて話し合い、いよいよ9月から「開店」となりました。

毎週水曜日に開店し、店番はグループの人が交代で行い、店番ではない人は、チラシをまきに出かけます。「創作グループ」の作るマグネット飾りや、作業所で仕入れたクッキーなどを売っています。一番人気は、月に1回の「鳩岡プリン」です。毎週続けることで、だんだんお客さんも増えてきました。

また、これも恒例となった一日外出では、今年の目的地はセント

きょうされん全国大会ーN京都

めいほく友の家 後藤 洋輔

今年の9月21日と22日の2日間京都で開催された、きょうされん全国大会に参加しました。初日はイベントホールでオープニングセレモニーとして、京都の仲間たちによる今回の大会のテーマソングの合唱、京都での署名の様子を演劇のような形で紹介していました。その後はドンマッケイさんやマリアソリダードさんを交えた講演もありました。4500人規模の大会だったので、物販ブースなども大賑わいでした。二日目は各分科会に分かれての参加でした。仲間参加企画として京都のゆるキャラが集まり、一緒にダンスなどをするというものもあり、参加している仲間たちはとても楽しそうでした。他には京扇子作りや組みひも、狂言など、京都ならではのものもありました。次回の大会は愛知での開催になるので、今回の参加をもとに、愛知らしい大会にしていきたいかなと思います。





めいほくホームは6月にあさひが開設されて6ホーム26名定員となりました。仲間を中心に生活をいっしょに楽しむことを大切に

●めいほくホーム●
新たなグループホーム

「あさひ」

レア。車いすの集団が二手に分かれて公共交通機関で大移動。何回か実施するうちに各駅の駅員さんの対応も少しずつ慣れてきたように感じます。世の中に友の家に通うような人々がいて、普通に電車に乗って出かけたたり楽しむということを広く知っていただく機会にしていきたいと思えます。

てきました。ハロウィンでは下飯田の先輩入居者の仲間たちが新守山のあさひまで遊びに来てくれたので、手作りパンプキンカップケーキでお迎え。みんなで交流



しました！
毎日の食事づくりも
楽しみのひとつ。朝食
のホットサンドをみんな
で作ったよ！

今年もきょうされん署名の季節がやってきました

障害があっても「あたりまえに働き えられる暮らしを」実現させるために、署名へのご協力をよろしくお願いいたします。

日本政府が障害者権利条約を批准して5年が経とうとしています。

障害者権利条約を地域のすみずみにひろげ、障害のない他の者との平等を基礎とした法制度を実現することが必要になっています。そのためには、少なくともOECDの平均並みに障害福祉予算を引き上げることが欠かせません。障害のある人の人権を守る制度作りへのご協力よろしくお願いします！

今年も4月までの署名の取り組みになりますので、皆さんご協力よろしくお願いします！

※お手数ですが同封の署名用紙に氏名・住所をご記入の上、封筒(切手不要)に入れ、返信してください。



一人ひとりの人生をサポート

その人らしく過ごせる生活を大切に



●めいほく町南の家●

「めいほく町南の家」の役割

小規模多機能事業所である「めいほく町南の家」はデイサービスの機能である「通い」に加え、「訪問」「泊り」のサービスがある施設です。「訪問」では利用者の自宅へ伺い、掃除、買い物、受診の付き添い等、ニーズに合った支援を行います。利用者の自宅に訪問する事により、生活環境や家での暮らしを知る事ができ、ご家族から話を伺える機会も多くなります。「泊り」を利用される方に



大切な事だと感じています。この様に小規模多機能事業所は「自宅で暮らし続ける事」を支える為、これらのサービスを組み合わせ、ご家族と協力しながら在宅を支えています。

は認知症の発症で独居が難しい方

や、介護者のレスパイト・ケア（介護する者が介護サービス等を用い

一時的に休息をとること）が目的で利用される方がいます。職員は利用者の日中の様子だけでなく夜の様子も知る事ができます。利用者の24時間の様子を知る事は、その人が抱える課題やニーズを見つける上で



●デイサービス町南●

やれることはやるよ!!

朝、デイサービスに車が到着し、利用者さんが降りて来られます。お茶を飲んだり、健康チェックをし、新聞の広告をチェックしたりとのんびりした時間。でも、乾いたタオルを見るとさっとたたんでくれる方、「今日のお米は何合炊くの?」とお米を研いでくれる方。昼食の時間には、「これは誰の?」と運んでくれる方、「家ではもう何もやらなくなった」と言いなが



ら、昼食のリンゴや柿をくるくる剥いてくれる方、「最近ほけちゃつてもうダメだわ」と笑いながら片づけを手伝ってくれる方などなど、デイサービスでは皆さんの役割があつていつも職員は助けられてらつています。

「役に立たんけどこれくらいやってあげる」「昔はやったけどもつでなくなつたな」と確かに出来なくなつた事もあるけれど、まだまだできる事もいっぱいの人々の先輩たち。これからも頼りにしていますよ。

● デイサービス東町 ●

お出掛け先での奇跡！

東町の利用者さんは、元気な方が多く、皆さんお出掛けが大好きです。秋といえば紅葉、紅葉といえばこのあたりでは香風溪が有名ですが、デイサービスから香風溪へお連れするのはさすがに難しいものです。ただ名古屋市内でも香風溪にも劣らないぐらい素晴らしい紅葉を観られるところがありま



す。東区の禅隆寺の紅葉は、まるで京都に来ているかのような気分になりますし、小幡緑地のドウダンつつじも見事で、今年も皆さんとお出掛けしました。小幡緑地のドウダンつつじの紅葉に見とれていた時のことです。山鳥にエサをあげるおじさんに出会いました。おじさんに「やってみる？」と誘われて、一人の利用者さんが挑戦。おじさんの指導でエサを手のひらにのせて待つっていると、山鳥がエサを取りに何度か飛んできたのです。利用者さんも貴重な体験ができたこと大喜びしていました。山鳥がエサを取って飛んでいくのは一瞬なので、写真におさめるのは厳しかったのですが、この奇跡の一枚を見て下さい！

第18回職員研究交流集会

デイサービス東町 櫻井英人

介護保険制度が施行されて18年が経過しましたが、21・老福連（21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会）が主催する職員研究交流集会も今回で18回目を迎え、今年の開催地は熊本。名北福祉会は、一昨年から21・老福連に加入しており、職員研究交流集会への参加は3回目となります。分散会は、14グループに分かれ、それぞれのテーマに沿って演題を発表し、討議されます。私は今回『地域や家族に支えられた施設づくり、地域貢献の取り組み』の分散会に参加して、昨年から取り組んでいる体操教室や終の棲家の施設づくりについて発表しました。地域の方を交えながら、憩い家の活用もつと増やしていけないかなど、貴重な意見を頂きました。私の他に3演題あり、家族会の活動や地域貢献としてデイサービスの職員や利用者さんが小学生の下校見守りを行うなど、いろいろな取り組みを聞くことができました。分散会で討議されたことなどを活かしながら、地域に根ざした施設づくりをすすめていきたいと思つています。





● ケアプラン町南 ● 地域活動を大切に

2018年度はケアプラン町南の人事にも大きな変化がありました。

ベテランケアマネが6月に一人退職され、4月、7月にお二人新しく職員となられ8名で毎日利用者支援に走り回っています。春の医療介護の同時改正もあり、地域包括ケアシステムの中心的な役割も求められており、利用者さんの入退院時には必ず連携が必要になっていきます。地域活動としては、認知症カフェ（ぼちぼち、矢田保育園）でのお手伝いをしています。ケアマネ業務だけでなく、地域で

の役割も必要と考えています。やめられたケアマネさんも、毎回認知症カフェや町南のお祭りなどに手伝いに来ていただいております。感謝です。やだカフェ地域では、地域に買い物する場所がなく、元民生委員さんの野菜販売が大好評でいつも新鮮な野菜を用意し格段で提供頂いています。

ケアマネのお仕事を通じて先輩方から教えていただいた地域活動を今後も大切にしていきたいと思っています。



実践と研修報告

「親身に寄り添い、心ある支援を繋いでいく」

地域生活部

少子高齢化、人口減少にもなっており、様々な仕組み・枠組みを変えていかざるを得ない状況です。医療・介護・福祉・生活支援を連携させて、切れ目のない地域福祉支援体制を・・・地域包括ケアシステム構築推進が求められています。高齢で一人暮らし、社会的孤立、買物・家事・通院などの日常生活支援は住居環境、低所得、認知症、緊急対応の必要とともに多様な課題が重層的で複雑です。その一つひとつ個別の課題に親身に寄り添い、心ある支援を何とか繋いでいきたいと、ケアマネ、相談員は支援計画を練り上げていきます。

そこで利用者に信頼されるには、真摯な姿勢、専門知識、情報提供、積み上げてきた経験、機敏性などが問われます。そして医療、看護、介護、障害福祉、行政、住民などと幅広く連携、相談、調整を重ね、心ある支援チームを繋ぎ合せていきます。連携の過程に必要な制度知識、基礎的医学知識、在宅医療、訪問看護の活用、ターミナル・看取り、生活保護制度の手続き、活用等の研修参加と他事業所との事例検討会、地域ケア会議、自立支援協議会、事業所調整会議等、顔が見える連携を積み重ねていく際のコミュニケーション、ファシリテーション研修と合わせキャリアアップ、スキルアップを図っています。

予算を増やし、安心できる保育・学童保育を！
署名のご協力ありがとうございました。

11・2国会要請行動では、議員訪問を行い署名を提出しました。
子どもの権利を保障する立場から、保育の質の低下につながりかねない規制緩和、基準切り下げをさせない！職員の増員と処遇改善を！保育所ふやして、待機児をなくそう！を訴えました。

引き続きとりくんでいます。ご協力ください。



名北福祉会 2019年 公開講座

笑って学ぼう

憲法寄席

口演 **八法亭みややっこ**
弁護士・飯田美弥子さん

とき 2019年 2月 24日(日)
開場：午前9時30分 開演：午前10時～12時

ところ 鳩岡ホール (めいほく鳩岡の家3F)

めいほく鳩岡の家
名古屋北区鳩岡町1-1-5 電話 052-911-0055

講師 八法亭みややっこ プロフィール
弁護士。高座名：八法亭みややっこ。水戸一高落研出身。
ハンセン病国賠訴訟弁護団、再審布川事件弁護団、
痴漢えん罪沖田国賠事件弁護団、
日の丸君が代強制反対裁判弁護団 (市立中学校教師) などに参加。
著書「八法亭みややっこの憲法論」(花伝社)

主催 社会福祉法人 名北福祉会
協賛 名北福祉会 9条の会
お問い合わせ 名北福祉会本部
電話 052-910-3066
FAX 052-912-5188

名北福祉会では各事業所で
正規職員を募集しています
ぜひご応募ください

◆募集業種

保育士 (保育園) 生活支援員等 (障害施設)
介護支援相談員、介護員など (高齢施設)

◇応募から採用まで

- ①書類選考 ②実地体験 (2日)
- ③レポート提出 (400字×4枚) ④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人 名北福祉会 人事担当
TEL052-910-3066

ヘルパーさん募集(ヘルパー2級・介護福祉士)

障がいを持つ人やお年寄りの生活を支える、やりがいのある仕事です。詳細はお問い合わせください。

時給 1,000円～1,750円 ※仕事の内容や時間帯によって違います。
交通費 850円/日 (上限)

問合せ先 ヘルパーステーションそら

電話 052-910-0712 Email:sora0712@train.ocn.ne.jp

(担当) 岩橋・坂野

お助けクラブにご協力ください

お助けクラブは、手伝って欲しい方、手伝いでもいいよという方、共に会員登録をしていただき、信頼関係をもとに会員同士のお話し合いで「手伝いの内容」「日時」を決めていきます。お手伝いの利用料は一時間700円になります。詳細は福祉会本部にお問い合わせください。

名北福祉会を支える会の会員募集

夢のある豊かなまちを共につくりましょう!!

この会は、「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめて、福祉の充実をめざします」の基本方針に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援していく会です。是非ご協力よろしくお願いします。